

いつでもどこでもインターネットで楽しくレッスン

「オントモ・ヴィレッジ オンライン講座」

e-playing 生徒募集中!!

受講料

3,780円(税込)

視聴期間

60日間

(期間内は、何度でも
視聴できます)

これがピアノ上達への近道だ!

ピアノ・脱力奏法講座

「ムジカノーヴァ」のセミナーでも人気の岳本恭治さん。ピアノの打鍵システムと重力に逆らわない脱力奏法を丁寧に解説します。トレーニング方法もご紹介していますので活用ください。

講師: 岳本恭治

Kyouji Takemoto

武蔵野音楽大学ピアノ科・国立音楽院ピアノ調律科卒業。英国トリニティ大学グレード・ディプロマを最優秀で取得。演奏活動と共に「ピアノ構造学・改良史・奏法史」のセミナーを行う。「国際フンメル賞」受賞。著書「ピアノ大全」(ヤマハ)他多数。現在、国立音楽院指導講師、日本J.N.フンメル協会会長、国際フンメル協会名誉会員、全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。



講座紹介動画
はこちら→



詳しくはこちらから▼

オントモ・ヴィレッジ

検索

講師・岳本恭治さん



この講座では、手の形やトレーニング方法など、重要なことを何度も繰り返して視ていただくことができます。特に、腕の重さを知る方法、また無理のない筋力の使い方、脱力奏法のための基礎的な知識を学んでいただけます。

脱力奏法のトレーニングを無理なくしていただくように解説をしていますので、ぜひ、このチャンスにご自分の奏法を見直して、美しい響きでピアノが弾けるようにしていただきたいと思います。

これがピアノ上達への近道だ！

ピアノ・脱力奏法講座

講師：岳本恭治

講座ハイライト

1 プロローグ 脱力奏法とは



脱力奏法

「脱力奏法」というのは、指を自然に伸ばして、重力や、無理のない筋力を使って弾くことです。腕の重さと筋肉の弛緩を基本としていて、無駄なく筋肉を使いません。「ハイフィンガー奏法」と違って、「脱力奏法」では、弱い音でも響きがついてきます。強い音でも割れることはありません。

2 手順1 腕の重さを知る



腕の付け根がゆるんでいる状態

肩から力を抜いて、手をふらーんとさせておいて、膝の上に(手を)放り投げてください。この時、誰かに手を持って放り投げてもらいたいイメージがあるといいですね。できるだけ自然に放り投げてください。

3 手順2 腕の重さに耐えられる指をつくる



腕の重さに耐えられる指をつくる

第1関節、腕の付け根のMP関節。この2か所の関節を鍛えるトレーニングです。

4 手順3 指を独立させる練習



ショパンポジション

「ショパンポジション」に指を置いて、MP関節からの動きで、鍵盤を押し下げる練習をします。

5 脱力奏法の基礎トレーニングまとめ



指の力を抜いて 指先が鍵盤に触れたまま 鍵盤をもとに戻す

打鍵した後、指を離して鍵盤を上げるのではなく、指の力を抜いて、鍵盤に指先が触れたまま鍵盤をもとに戻すことに注意してください。

6 ショパンとヘルツの2つの課題を使って



ショパン：ピアノ奏法の草案より
ロ長調のスケール

まず1番目の課題です。ショパンのピアノ奏法の草案より、ということで、ロ長調のスケールを練習します。

※詳しくは、本編をご覧ください。

受講料：3,780円(税込)

視聴期間：60日間(期間内は、何度でも視聴できます)

詳しくはこちらから▼

オントモ・ヴィレッジ

検索